

平成 24 年 5 月発行

第25号

発行 有田川町議会

発行責任者 議長 中山 進

住所 郵便番号 643-0021

和歌山県有田郡有田川町

大字下津野2018番地4

電話 0737-52-2111

FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報 かわら版



元気いっぱいの子どもたち（図書館イベント 清水やすけにて）

平成 24 年度当初予算など	2 ～ 6
町長にもの申す（一般質問）	7 ～ 14
委員会レポート	15

吉備中学校改築事業費に 17 億 6,053 万円
消防庁舎・関連施設の建設費などに 4 億 9,083 万円

一般会計当初予算

165億4,800万円

平成24年第1回定例会は、3月1日から22日までの日程で開催されました。

本定例会に提案された平成24年度一般会計当初予算・各特別会計当初予算、平成

23年度補正予算、条例の制定・一部改正、道路線の認定など、提案された議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

◎平成24年度予算の主な歳出

◎一般会計予算

(単位：万円)

項 目	金 額	説 明
議 会 費	1 億 1 1 2 8	議会費全般
総 務 費	1 2 億 7 0 8 9	総務管理費、徴税費、戸籍住民台帳費、選挙費など
民 生 費	3 6 億 0 6 8 3	社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など
衛 生 費	1 2 億 3 9 7 6	保健衛生費、清掃費、上水道費など
労 働 費	6 8 3 5	労働諸費
農林水産業費	1 8 億 3 7 8 9	農業費、林業費、水産業費
商 工 費	1 億 9 0 4 0	商工観光費全般
土 木 費	7 億 8 4 9 5	土木管理費、道路橋りょう費、下水道費など
消 防 費	1 1 億 8 1 9 6	消防費全般
教 育 費	3 0 億 4 5 8 6	教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費など
災 害 復 旧 費	4 億 3 6 2 2	農林水産業施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費
公 債 費	2 6 億 2 1 6 2	借入金返済
諸 支 出 金	1 億 3 1 9 3	基金積立金
予 備 費	1 9 9 8	その他予備として
歳 出 合 計	1 6 5 億 4 8 0 0	



新消防庁舎への進入路



吉備中学校 校舎棟の建設場所

◎特別会計予算

(単位：万円)

項 目	金 額	説 明
国民健康保険事業	36億8255	保険給付費、後期高齢者支援金など
後期高齢者医療	6億7681	後期高齢者医療広域連合納付金など
介護保険事業	25億7726	保険給付費、地域支援事業費など
特別養護老人ホーム等事業	183	基金積立金など
簡易水道事業	6億0421	水道施設管理費、公債費など
公共下水道事業	11億4949	公共下水道施設管理費、公債費など
農業集落排水事業	2億9806	農業集落排水施設管理費、公債費など
簡易排水事業	199	簡易排水施設管理費、公債費など
浄化槽事業	852	浄化槽施設管理費、公債費など
かなや明恵峡温泉	1億2146	かなや明恵峡温泉施設管理費、予備費など
岩倉財産区管理会	5	管理会委員報酬費、予備費など
栗生財産区管理会	49	管理会委員報酬費、予備費など
城山山林財産区管理会	182	管理会委員報酬費、予備費など
八幡山林財産区管理会	120	管理会委員報酬費、予備費など
安諦山林財産区管理会	11	管理会委員報酬費、予備費など
歳 出 合 計	91億2590	(万円以下切り捨て)

平成24年度
一般会計予算 質疑

質疑 スクールバスの整備管理規定は、バスの安全管理と環境の保全のために車両の点検と整備を規定している。また整備管理者の職務も規定されている。

清水地区スクールバス（代車）の車検が切れたまま走っていたというが、どのように認識しているか。車検切れの報告はあったのか。

こども教育課長 3月5日に分かった。早速、業者に報告書を出させた。2月6日から3月1日まで車検切れで運行していた。3月16日に文書で報告を受けた。

町長 業者は、事態の重大さを十分認識し、今回の契約を辞退すると申し出た。4月8日からの運行には万全の手続きで進めていく。

質疑 土地改良区について、タンクの修繕に町が改良区に10%の負担をするという聞いたが、これは受益者負担の何割か。また改良区の受益者がどのくらいあるのか。

副町長 有田川土地改良区の有田川町の受益戸数は733戸、受益面積は374万4822㎡、当初から受益戸数や受益面積は約8割に減少。施設の修理は、土地改良施設の修繕・保全事業、ポンプや配電盤の修理を行ってきた。町は受益者負担の4割を補助している。町負担は、全体事業費の約1割にあたる。

土地改良区のタンク

町長 改良区の予算や工事の年度内の計画書を出してもらい検討したい。

質疑 中山間地域直接支払制度の現状はどうか、6月議会までに資料を出していただきたい。水田、畑、牧草地の基準額はいくらか。

産業課長 6月議会までに実績を出したい。現在の単価は、田で10割給付で2万1千円、8割給付で1万6800円。畑は10割給付、1万1500円。8割給付で9200円。

質疑 藤並駅付近で、以前SLを設置していた場所を駐車場にしたらどうか。

藤並駅前(元SL設置跡地)

町長 藤並駅前駐車場として広げられないか検討したい。

質疑 全国棚田サミット開催企画立案業務委託料、3年間で275万円の予算化だが、全体の事業費はいくらか。

すでに開催された市町村に事業効果を聞くと、明確な事業効果とはいえなかった。ある町では棚田の保全活動のために一人を3年間雇用したり、

棚田までの道路を拡幅するのに3億円を使っている。棚田サミットを開催してきた市町村の65%は棚田オーナー制度がある。

わが町ではその制度もない。事業効果が見込まれる計画にしてみたい。

産業課長 平成24年度は1489万円。25年度は3182万円、合計4671万円が事業費。波及効果については、事例を研究し、後年度に効果が残るよう取り組みたい。

町長 費用対効果は大事だが、少しでも棚田の活かされている現状や、棚田の果たしてきた役割を知ってもらおうサミットにしたい。オーナー制度はこの機会を通じてやっていただける方をつのりたい。

質疑 棚田サミットで基調講演をするなら、専門的に取り組んでいる大学の先生や団体の方を招き、実のある講演にしてみたい。

町長 基調講演は十分検討させていただき、実のあるものにした。

質疑 放射線量計は何台購入し、その使い方はどうか。

環境衛生課長 購入台数は1台、シーベルトを測るのと放射線全体の強さ、大きさを測る。空間ではどのくらいの放射線があるかを測れるものにした。月1回など、定点観測して記録にとどめる。食品の表面汚染も測れる。



消防本部に保管している線量計

平成24年度 国保特別会計予算 質疑

質疑 所得100万円以下で世帯が60%ある。緊急策として、当面100万円以下の世帯、2697世帯の世帯割の引き下げを求める。

町長 検討したい。

平成24年度 後期高齢者医療特別会計予算 質疑

質疑 75歳以上の保険料、均等割でいくらか。所得割率で何%。平均の保険料で年間どのくらいか。

住民課長 平成24年、25

年度の後期高齢医療の保険料の改定があり、均等割で622円増の4万3271円。所得割は

0.37%増の8.28%。これに基づき、負担額は、平均的な所得の状況と家族の構成をみると、

200万円の公的年金だけの方は、1年間で2割、5割の軽減がかかり1300円の増。夫が200万円、妻が80万円の公的年金収入の2人世帯では

1800円の増額。軽減の全くかからない世帯と比較すると300万円の収入で一人で6千円の増。夫300万円、妻80万円の収入の2人世帯は、年間6600円の増となる。

平成24年度 介護保険特別会計予算 質疑

質疑 65歳以上の介護保険料の基準額、4千円がいくらになるか。またヘルパーの家事援助などの

基準時間や報酬単価がどう変わるか。

長寿支援課長 第1号被保険者の4段階、月額4千円が4700円になる。現在サービス提供の単位、60分から45分になる。

条例の制定

◎中山間ふるさと・水と土保全基金条例
(基金を積み立てる)

◎公民館運営審議会条例

◎都市農山漁村総合交流促進施設山椒体験棟条例

◎水道事業者の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

条例の一部改正

◎印鑑条例

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
(体育指導委員、年額4

万円をスポーツ推進委員、3万5千円に)

◎町税条例

(たばこ税1000本当たり、4818円を5262円に)

(平成26年から10年間だけ、個人町民税の均等割を3千円から3500円に、町の財源となる)

質疑 個人の町民税の税率、均等割の3千円に、平成26年度から10年間に限って500円を上乗せする特例が入っているが、年間どのくらいの税収が見込まれるか。

税務課長 いまの対象者が5564人。年間278万2千円となる。10年間では約2782万円となり、防災などの財源として使われる。

◎手数料徴収条例

◎町立学校に関する条例(上六川小学校を休校から廃校にする)

質疑 今回、上六川小学

校を廃校にするが、今後どうするのか。町の方で使用目的をもっているのか。

こども教育課長 上六川

小学校は、平成22年4月1日より休校にしてきた。



旧上六川小学校

今回、施設を廃校にして地元の上六川区の「味彩会」が農産物加工所として使用する予定。

質疑 「味彩会」は、どの

ような加工をして、販売をどうするのか、物産店にするのか。「味彩会」が年間どのくらい売り上げがあるのか。

産業課長 産業課では直接話を聞いていない。売り上げについてもつかんでいない。

質疑 旧生石小学校を利用した加工施設はうまく

いかなかった。今回の件では成功してほしい。十分検討し、議会へも報告してほしい。

町長 生石の事例もあり、運営にあたっては指導をしたい。

質疑 町の施設をどこかが一括管理し、使いたいとき、産業課を通じて相談できるようにした方がいいのではないか。



味彩会販売所

町長 今回の議案は、教育委員会管轄の学校施設を休校から廃校にするものである。

「味彩会」の事業が始まれば、産業課がかかわっていくことになる。

◎金屋図書館条例

◎文化ホール条例

◎子ども医療費の支給に関する条例

(対象者を12歳から15歳まで引き上げる。実施は9月1日から)

◎特別擁護老人ホーム条例(指定管理者から利用料金の一部を拠出できるようにする)

◎介護保険条例

(65歳以上の介護保険料が、月額の基本額が4千円から4700円になる。第1、2段階が2千円から2350円に。第6段階が6千円から7050円になる)

◎町営住宅条例

(入居基準の「同居親

族」が撤廃される)

◎消防団員等公務災害補償条例

条例の廃止

◎吉備町文教施設整備基金条例及び金屋町庁舎周辺総合整備資金基金条例

その他の議案

◎辺地総合整備計画の策定(防火水槽の設置、遊休施設改修工事)

◎辺地総合整備計画の変更(町道すべり石線の改良工事の追加)

◎町道路線の認定(町道堀ノ上線―野田地区)

意見書の提出

「こころの健康を守り推進する基本法」(仮称)の制定を求める意見書の提出



副議長 森谷 信哉



議長 中山 進

議長、副議長 就任あいさつ

町民のみなさまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども、このたび有田川町議会議長ならびに副議長に就任いたしました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。

日本は今、昨年の東日本大震災や和歌山県を襲った12号台風の復興に向かって歩んでいる真最中にあります。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

私たち議会も、地域の「絆」を大切に、町民の安心・安全、また町の発展をめざして、これからも最善の努力をいたす所存でございますので、どうか今後ともみなさまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

有田川町議会各常任委員会・特別委員会・一部事務組合議会議員の構成

議会運営委員会

委員会名	氏名
議会運営委員会 (6)	◎ 森 本 明
	○ 佐々木 裕 哲
	増 谷 憲
	堀 江 眞智子
	殿 井 堯
	西 弘 義

一部事務組合議会

一部事務組合議会名	氏名
有田周辺広域圏 事務組合議会議員 (3)	橋 爪 弘 典
	殿 井 堯
	亀 井 次 男
有田郡老人福祉施設 事務組合議会議員 (3)	岡 省 吾
	佐々木 裕 哲
	森 本 明
有田聖苑事務組合 議会議員 (2)	東 武 史
	楠 部 重 計
和歌山県後期高齢者 医療広域連合議会議員 (1)	楠 部 重 計

常任委員会

委員会名	氏名
総務文教 常任委員会 (6)	◎ 殿 井 堯
	○ 堀 江 眞智子
	岡 省 吾
	楠 部 重 計
	新 家 弘
	中 山 進
産業建設 常任委員会 (6)	◎ 西 弘 義
	○ 佐々木 裕 哲
	橋 爪 弘 典
	東 武 史
	前 勢 利 夫
	竹 本 和 泰
住民福祉 常任委員会 (6)	◎ 増 谷 憲
	○ 森 本 明
	湊 正 剛
	坂 上 東洋士
	亀 井 次 男
	森 谷 信 哉

特別委員会

委員会名	氏名
下水道事業対策 特別委員会 (6)	◎ 湊 正 剛
	○ 亀 井 次 男
	堀 江 眞智子
	佐々木 裕 哲
	殿 井 堯
	西 弘 義
国道対策 特別委員会 (6)	◎ 竹 本 和 泰
	○ 前 勢 利 夫
	橋 爪 弘 典
	東 武 史
	新 家 弘
	森 谷 信 哉
議会広報編集 特別委員会 (6)	◎ 増 谷 憲
	○ 岡 省 吾
	橋 爪 弘 典
	森 本 明
	坂 上 東洋士
	楠 部 重 計

※ ◎は委員長、○は副委員長 () 内の数字は定数

町長にもの申す 一般質問

7議員が登壇しました



楠木教育長



中山町長



東建設課長



河島環境衛生課長

(課長職名は、3月末日までのものとなっています)

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	佐々木 裕 哲	1 低炭素社会の町づくり推進を
		2 家電リサイクル法と家電製品無料回収を問う
2	殿 井 堯	1 効率的でさらに質の高い公共事業の推進を
		2 武道教育を問う
3	前 勢 利 夫	1 再生可能エネルギー開発を
		2 平成25年開催の全国棚田サミットの取り組みは
4	西 弘 義	1 災害復旧の進捗状況は
		2 防災の備えを
5	堀 江 眞 智 子	1 広汎性発達障害への対応はどうか
		2 下水道工事現場の道路改修を
		3 チャイルドシートの貸し出しは
6	増 谷 憲	1 国民健康保険制度の充実を
		2 町内の雇用と経済活性化対策を問う
		3 自殺防止対策を求める
7	岡 省 吾	1 第19回全国棚田サミット開催に向けて



わが町の環境問題を問う



佐々木 裕 哲

低炭素（CO₂削減） 社会の町づくりは

質問 ゴミ収集事業はこれまでの随意契約から全て入札方式へ変わり、合併当時の年間8500万円の経費は、今年度で2800万円と、大幅な経費削減になった。わが町の大きな行政改革のひとつだ。

削減予算を基金として積み立てているが、その実績および今後の取り組みを問う。

国は農業用水などへ小水力発電、間伐材やバイオマスでの小型火力、耕作放棄地への太陽光や風力発電など設置する場合、地方自治体や農家へ支援し、実証実験するという。参加してはどうか。また千葉山へのメガソーラー計画は本当なのか。

町長 ゴミ改革基金で今まで8900万円を積み立てて、その基金で太陽



増加する太陽光発電

へのメガソーラー発電施設の設置については、企業から相談にきている。
環境衛生課長 平成24年度は太陽光や太陽熱利用設備に800万円、またプラ収集ダンブなどに160万円を計画している。今年度末の基金残高は4500万円となる予定。

ゴミ減量アンケートから1世帯で年間平均180から200kgの生ゴミが排出されている。

家電製品無料回収者の対応

質問 家電リサイクル法（テレビ、エアコン、冷蔵庫庫および冷凍庫、洗濯機並びに衣類乾燥機）の不燃品は購入販売店か中間処理業者に依頼しなければならぬ。また法律で決められた処理料金が定められている。しかし無料回収業者の方が安いといわれている。他の家

電製品などは町が回収、または町が指定した業者にと、町広報で町民に知らせている。これら無料回収業者は正式に許可を受けて営業しているのか。この法律は罰則がないのもおかしい法律だ。何のために町が許可した業者なのか。もし違法であれば町条例をつくり対応してはどうか。

町長 無料の回収業者に對して、今までも保健所や警察とともに指導しているが、罰則がない。今後リサイクル法に関連する適正な法的規制をするよう要望していく。町独自の条例は難しいが、他町や県とも連携しながら取り組んでいく。

環境衛生課長 一般廃棄物収集業許可業者は町内に住所を有する者に限定している。



効率的で質の高い公共事業の推進を

殿 井 堯

平成24年度予算執行を問う

【質問】 平成24年度の予算は、昨年よりさらに多い165億円で町が運営していくことになる。この膨大な予算を町はどう執行していくのか。

また予算の無駄を徹底的に省くために大きな事業は、コンサルタント（事業の技術的専門家）任せではなく、事業内容を十分に把握・対応できる専門的な技術を持った職員が必要である。町としての今後の方針を問う。

町長 予算は、慎重なおかつ無駄なく進めていかなければならない。24年度の主な予算は、吉備中学校の改築、消防署の新設、あさぎり周辺の整備、藤並地区の学童保育の改築などがあげられる。

地方交付税の合併特例が9年後にはなくなるの



吉備庁舎全景

で、今後9年間で12億円の経常経費を削減していかなければいけない。そのためには、予算の無駄を省き、現場の経験を活かす。また現職員の資格の取得など町職員のレベルアップに力を入れていかなければならない。

【質問】 予算を積算する上で、現場で適切な指示をし、事業をスムーズに進めるためにも、経験が豊

かな技術者や専門職員は必ず必要になる。今後、このような人材の育成にも町はしっかりと力を入れていただきたい。

町民のみなさ まにご迷惑をおかけすることのないよう、徹底して無駄を省き、十分検討し、計画された予算運営を実行していただきたい。

町長 町職員の中でも優秀な人材はたくさんいる。今後、各部が協力・尊重しあいながらどのような事態にも対処できるように改善していく。

中学校授業の武道必修に伴う生徒の安全性を問う

【質問】 4月より中学校の保健体育の授業に武道が

必修科目として導入される。武道は伝統的な日本文化のスポーツであり、導入に関しては賛成だが、時には危険を伴う事故が起ることがある。子どもたちの安全性を確保するために、学校側は十分な対策がなされているのか。

また、武道の指導者に対する適切な指導がなされるか。武道により優秀な人材が育成されることは喜ばしいことである。そのために、生徒の安全性を十分確保し、子どもたちの教育指導にあたってほしい。

教育長 武道の導入は、平成24年度より保健体育の授業で完全実施される。柔道・剣道・相撲のいずれかを各中学校が選択することになっている。

指導者の配置は、専門の指導者、外部の人材も活用しながら、安全管理の徹底に努めたい。

安心、安全に暮らせる町づくりを



前 勢 利 夫

再生可能エネルギーの開発を

質問 東日本大震災は化石燃料にたよってきた現代社会に一大衝撃をあたえ、太陽光発電など再生可能エネルギーの本格的開発・利用を提起した。

このことは、中山間地域活性化の切り札になることと考える。町当局の対応や取り組みを質す。

町長 本町では、すでに再生可能エネルギーとしての風力発電を稼働している。

太陽光発電は本格的な充実を目指し計画を進めている。

また小水力発電開発計画を実現すべく関係当局と交渉を行っている。

木質バイオマスについては、多くの提言をいただいたが、発電エネルギーとしての利用基盤が確立すれば本町も大きな資源を有し、林業の活性化にもつながるものと考えられる。

技術的問題、材料の安定購入など、まず国が発電技術や政策的売電価格など、入口と出口の部分を確認していただく必要があると考える。

全国棚田サミットの取り組みは

質問 平成25年に全国棚田サミットが当町で開催されることが決まっているが、成功のための準備と進行状態を具体的に問う。

参加団体、参加者数はどうか。

町長 全国棚田連絡協議会、1000人の参加予定。

質問 宿泊施設はどうか。

町長 清水地域では民宿、民泊も含め240人。金屋30人、吉備70人。周辺1市2町で1100人程度を見込んでいる。

質問 あらぎ島開発の始

祖「笠松左太夫」先生の功績をどのように扱われるのか。

町長 あらぎ島が棚田サミットの中心であり、現在のあらぎ島の礎を築かれた方であるので今後、どう取り扱うか検討する。

質問 あらぎ島展望台をどのように設置するのか。

町長 現在の展望台から少し清水域に742㎡の用地を購入しており、平成24年度に駐車場や東屋などを設置する。

質問 国の重要文化的景観としての認定に向けて、現時点での見通しはどうか。

町長 平成22年10月から平成24年度にかけ文化庁から文化的景観保護推進事業の交付を受け、和歌山大学やあらぎ島文化的景観保存調査委員会および耕作者などにより、本質的な価値や特性の把握を行った。また普及・啓発パンフレットを作成す

るとともに昨年7月に調査した結果を報告会という形で開催した。

今後は、調査結果をもとに、保存計画の策定、計画書の刊行を行い、平成25年1月に国へ申し出を行う予定である。

質問 紀清の集い、清水中央商店会への支援を求めているのか。

町長 清水地区には活性化をはかるため活動をしている多くのグループがある。町としても精一杯の支援をしたい。棚田サミットに向け、さらなるご協力と「清水地域まるごと体験観光創出事業」を推進したい。





今後の災害復旧と防災は

西 弘 義

災害復旧の 進捗状況は

質問 大規模災害は復旧されつつあるが、進捗状況はどうか。

また小規模災害でブルーシートをかけたままになっていてところが何か所がある。どのようになっているのか調査しなければならぬと思うが、町はどのように考えているか。

町長 復旧の進捗状況は、ほとんどの箇所国で査定が終わったと聞いている。緊急性の高い箇所から進めていきたい。

激甚災害の指定を受けたので、3年以内にすべての箇所を復旧することが国の方針になっている。平成24年度で約90%の復旧をみている。

ブルーシートの箇所は、県管轄で県が工事の発注をしたが、応札がなかったと聞いている。今後は、

大きな工事とセットで発注して入札をするとしている。

質問 ブルーシートをかけるのは雨水の浸透を防ぐためではないだろうか。危険な場所であれば早急に対処していただきたい。

町長 ブルーシートは雨水の浸透を防ぐためだと思う。県は一日も早く工事ができるよう発注をしたが、応札はなかった。3月21日に再度入札を行い、3月28日に契約すると聞いている。早急に工事にかかってくれるように思う。



河川公園(庄地内)

河川の堆積土砂 の撤去を

質問 紀南地方では河川の氾濫により多くの土砂が河川にたまり堆積土砂となっている。県知事はこの堆積土砂を取ってもよいといっている。県下一円を大規模災害地と認めているのであれば有田川の堆積土砂も撤去して、今後の災害に備えてはどうか。

また二川ダムより上流にも多くの堆積土砂がある。これも撤去しなければ有田川は「死んだ河川」となってしまう。早急に対処していただきたい。

町長 堆積土砂の除去は高額な費用がかかる。今回、県は日高川のモデル事業で、例外的に土砂採取を認め、業者に無料で掘削してもらい、業者は砂、バラスなどを販売できる仕組みになっている。



有田川の堆積土砂(遠井地内)

る。有田川でも砂、バラスなどを採取できる場所が何か所がある。日高川でのモデル事業をみながら、有田川でもできるような県にお願いしたい。

建設課長 河川の堆積土砂の除去について、県の河床掘削試算では1㎡当たりの単価が高くなる。日高川の事業では、必要な許可をもつ業者が掘削をして砂、バラスなどを販売することで利益を得られるようになっていく。希望業者があれば、有田川でもできるように要望していきたい。

障害者が安心して暮らせるまちづくりを



堀 江 眞 智 子

広汎性発達障害 児への対応は

質問 広汎性発達障害と

いうのは、脳機能の障害であり、ほかの人の社交能力やコミュニケーション能力・想像・思考力などが成長段階で正常に発達しないという障害だが、知的障害を抱えていないからといって彼らの問題は重要でないとか、助けを必要としていないということでは決してありません。逆に、障害を抱えていても気づかれにくいということが、かえって複雑で難しいさまざまな問題を生み出す原因となっている。

早期に発見する体制について、有田川町では実態をどのようにとらえているのか。発達障害者支援法（児童の発達障害の早期発見及び発達障害者の支援など）に基づき、どのように対応されているのか。

るのか。

保護者に対する相談体制が確立されているのか。

窓口はどこなのか。

同じ悩みを持つ保護者同士のネットワークはどうなっているのか。

保育所や小学校の相談にどのように対応しているのか。

広汎性発達障害児の通級指導教室の全校配置・人的措置を国や県に強く働きかけているのか。同時に、町独自の援助の計画はどのようなものか。



チャイルドシート

画はどのようなものか。

町長 健診は重要で、保健師が相談を受け付け、早期発見に努めている。ネットワークづくりは、保護者と相談しながら検討する。

教育長 園児については、行動観察や保護者からの相談、健診結果などをもとに実態をとらえている。

通級指導教室（通常の学級に在籍し、比較的軽度の障害者に対して、障害の状態に応じて指導を行うための教室）は、御霊小に開設している。状

況によって、保育所へは新たに保育士を配置し、小学校へは特別支援員を配置している。

下水道工事に関わる道路の修復は

質問 水尻地区の工事により、バイクや自転車が通行の不便を感じていると聞く。早急に修復されたい。

町長 できるだけ速やかに修復を進める。3月11日の入札で、793m分を修復し、残りは新年度の予算で行う。

チャイルドシートの貸し出し状況は

質問 現在の保有台数と貸し出し数は。

貸し出し要項や一時貸し出しはしているか。

町長 保有は170台、貸し出しは96台である。1年ごとの契約であるが、短期的にも貸し出しをする。



雇用対策に力を入れよ

増 谷 憲

国民健康保険税の引き下げを

【質問】 国民健康保険の一部負担金制度、入院の医療費の免除や支払を猶予する制度の基準を充実するため生活保護基準を広島市や豊見城市^{とみくすけし}のように見直しすることを求める。

町長 近隣の市町村や先進地の事例を研究したい。

【質問】 国保税1世帯1万円の引き下げを求める。年間必要額は約4800万円。財源は国保基金約4億円の取り崩しで十分可能だ。

町長 団塊の世代などの影響で高齢化や後期高齢者医療制度が、今後どのように国保会計に影響するか不透明な状況である。現時点では国保税を下げることは難しい。

雇用を増やし経済活性化を

【質問】 有田川町の雇用対策はどうか。また誘致企業の雇用状況はどうか。

町長 雇用創出するまちづくりに取り組む。農業はもとより雇用を生む事業を進めたい。企業には進出していただけるよう努力したい。

誘致企業10社における雇用状況は、雇用者数で約900人、そのうち約90%が有田地方から。80%が正社員。

商工会が中心になり、誘致企業によびかけ、立地企業連絡協議会を立ち上げ、社長などに意見を聞く場をつくっていくよう働きかける。

【質問】 介護分野の求人はかなりある。医療法人で9人、社会福祉法人で29人など、合計91人の募集があるが、合同の就職説明会で来たのは1、2名。

介護を希望する方が多いのに介護職員が少ない。行政が援助していくことが大事だ。例えば、町内に住む介護の職につく方で20歳から50歳を対象に仕事を続けられる支援策はどうか。

町長 今年、社会福祉協議会の介護職の給料を上げることを検討している。

【質問】 住宅リフォーム助成制度を求める。費用対効果も高く、経済対策としては即効性がある。

実施しているところで、少ない予算で大きな効果を上げている。

徳島県の石井町では、

8倍から10倍の経済効果を発揮している。例えば、30万円以上の工事に対して工事費の10%から20%助成し、耐震改修で上限5万円から10万円、太陽光発電工コ改修で5万円程度、町内産木材使用で5万円、県外からの過疎地域への転入での加算・

助成。また新婚家庭を対象にした増改築助成、これを地元業者に発注して経済効果を上げている。

また気仙沼^{けせんぬま}では、被災された中小企業への支援として被災中小企業再開・継続支援事業助成金制度で、復旧のために20万円以上100万円以下の費用を使った事業所に定額10万円の助成をやっている。国や県、市からの助成を受けていない事業所が対象。ぜひ検討を求める。

また、消耗品費や備品の地元発注の比率をどう高めるか。

町長 リフォーム助成制度は、今後、検討したい。消耗品や備品の購入は、できるだけ地元のを買いようにし、今後も努力をしていく。

『第19回全国棚田サミット』開催に向けて



岡 省 吾

サミットのテーマとその内容は

質問 平成25年11月8日、9日の日程で「第19回全国棚田サミット」が有田川町を舞台に開催される運びとなっている。

今議会においても、サミット開催に関連する予算も多く計上されており、徐々にテーマや企画構想、その内容が固まってきたと思うが、この棚田サミットがどのようなものになるか問う。

町長 現時点では実行委員会、運営委員会を立ち上げ、準備を進めている。計画としては、サミットを契機に棚田保全につながる内容、そのために地域が一丸となる共有テーマを考えたい。

広い視野で、棚田の持つ涵養作用^{かんよう}がいかに海や漁業にとって必要か、また棚田を守り、その恵みを後世に伝えることをス

ローガンに原案を実行委員会に示したい。

地域経済への波及効果は

質問 多くの来町者を見込むこの機会は、冷え込んでいる地域経済にとって、これを契機に明るい見通しを持たれる方も多いことと思う。

町としても、これを一過性のイベントで終わらせるのではなく、開催後も多くの方が訪れるような取り組みがなされるよう期待する。

この棚田サミット開催によって地域経済に及ぼす効果をどう考えているのか。

町長 経済効果を金銭面で表すことは非常に難しいが、特産品を使った食の提供や特産物の販売、さらに地域のみなさんが一体となっていたくことで、農地保全や商業観光に対する意識の向上に

つながると考えている。

サミット開催は、全国に情報発信されるため、観光客の増加も期待している。

一過性で終わるのではなく、町活性化のサミットにしたい。

成功にはPRが重要と考えるが

質問 この事業を成功させるには、有田川町民みなさんの協力なくしてあり得ない。しかし、今の段階では住民の意識もまだ薄く、機運を高めるため早期の周知が望まれる。

また、県内外の方々へのアプローチにもPRが非常に重要となってくると思うが、PRにどう努められるか。

町長 PRとしては、ホームページはもちろんのこと、新聞・雑誌への掲載。またテレビ和歌山などのマスコミへも情報

発信をお願いする。

質問 有田インター付近への告知看板の設置や、町内各地に横断幕の掲示、町内外の方と出会う機会の多い町職員はじめ各種団体のみなさまの名刺に、棚田の写真や開催の一言を明記いただけるようお願いするのも一案であると思うが。

町長 予算があまりかからない提案であるので、その方向で検討し、成功にむけて取り組みたい。



清水八景「あらぎ島」

委員会レポート

開かれた議会運営を目指して

委員長 佐々木 裕哲

議会運営委員会は、去る1月30日と31日、開かれた議会運営を目指している兵庫県多加町と、今後の災害に備え大阪市立阿倍野防災センターで研修を行いました。

多加町を訪問したのは、市町村の中でも特に議会の活性化に取り組んでおり、中でも行政改革調査特別委員会を設置して、議会による行政監視機能



議会運営についての視察(多加町)

を高めるとともに、住民と協働して政策提案型の議会づくりを目指している。同時に議会改革の方向性と議会基本条例の制定に向け住民の負託に応える開かれた議会、また、議員の品格と力量を高めたいとのことで、議員政治倫理規程の制定に向け取り組んでいました。

また、議員が町内各地へ出向き、議会報告会を行った。住民が議会に對し、どのように思っているのか、アンケート調査を行ったり、また休日議会の実施を行うなど、数多くの取り組みがなされていきました。

有田川町議会も合併後、いろいろと取り組んでいるが、今回の研修により、

議会および議員は一部の団体や地域の代表ではなく、住民全体の代表であることの自覚。住民への情報公開による説明責任と住民による意識改革を行わなければならない。

議員も町長も町民から選ばれたことを重く受け止めて、議会議員の活動原則や議員としての行動を律することが議会議員としての使命だと参加者一同、思いが一致したものです。

有田川町議会を研修して「ユーモアを交えつつ鋭い質問が」

和歌山県町村議会議長会
職員 畑 健一

有田川町議会を研修して、議員のみなさんにとっても活発に発言されているという印象を受けました。執行部からの提案理

由の説明に対して鋭い質疑を行っていたと思います。本会議と委員会双方でもユーモアを交えつつ真剣な議論が交わされていました。緊張感をもつてみなさんが議論をされているなという印象でした。

有田川町は、吉備町と金屋町と清水町の3町が合併して誕生した町ですから、議会でも旧町の色が発揮されていたように感じました。

議会では、雇用の創出や国保の問題といった大きな課題からゴミ処理の問題まで、幅広い議題が取り上げられていました。ですから、町の課題について大きな視点から把握できるのが議会の長所だと思いました。こうした活動を通じて、住民のみなさんの多様な意見が町政に反映されていくのだと思いました。

委員会では、議員さん

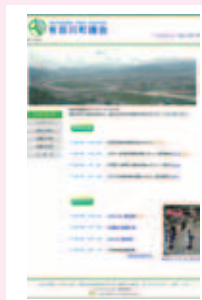
が町当局の施策に対して住民の立場から修正した方が良いと思われる所を指摘するなど、町当局とは違う視点からチェックを行っておられたと思います。

有田川町の予算研究会は、予算案について活発な議論がなされていました。予算研究会で印象に残ったのは、執行部の説明に対して「いいことをいう」とおっしゃって拍手なされた議員さんがいたことです。執行部と抑制・均衡の関係にあるのが議会ですが、良いところは評価するという姿勢が強く伝わってきました。

町長さんをはじめとした町当局の方も、議員さんも有田川町をよりよくしたいという思いは同じで、それぞれが役割を果たそうと努力されているのがとても良くわかりました。



第5回有田川町観光写真コンテスト 特報賞作品『山間に暮らす』撮影者：深野達也氏



また、議会ホームページもリニューアルしましたので、ご覧ください。

議会では、みなさんの生活に直結する問題を論議しています。ぜひ傍聴にお越し下さい。吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局の各1階ロビーにおいて議会で継もしていますのでご覧ください。

平成24年第2回定例議会は6月6日開会の予定で、一般質問は6月14日・15日に予定されています。

**傍聴に
お越し
ください**



◎は委員長
○は副委員長

増谷 憲
岡 省 吾
橋爪 弘 典
森本 明
坂上 東洋士
楠部 重 計

議会広報編集 特別委員会

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募ください。また、地域のサークルや団体を紹介するページも増やしたいと思います。ご連絡くださいれば取材にお伺いします。

広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラストなど、町民みなさんから募らせていただいております。

求む!



編集後記

3月25日、修理川小学校の休校式が行われた。学校運営にたずさわってきた関係者のあいさつを聞いていると胸にせまるものがあつた。「地元が一丸となって取り組んでいても、過疎化、少子化で児童が減少した」「学校の『灯り』が消える、133年の歴史を終えるのはさみしい。無念、残念。今日の日を迎えるとは夢にも思わなかった」これらの思いの中には悔しさと同時にいまの日本の山間地域のおかれている現実がある。人口減少時代、5年、10年先を想定しながらいま何が大事か問われている。

(増谷 憲)

お問い合わせ ☎ 52-2111
吉備庁舎4階 議会事務局まで